

製品名: CaMKII β ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21377**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:54kD;Observed MW:54kD,60kD

抗原情報

遺伝子名	CAMK2B
別名	CAM2 CAMK2 CAMKB
遺伝子 ID	816.0
SwissProt ID	Q13554
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

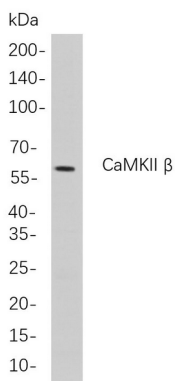
細胞局在: 細胞質。この遺伝子産物は、セリン/スレオニンプロテインキナーゼファミリーおよび Ca(2+)/カルモジュリン依存性プロテインキナーゼサブファミリーに属する。カルシウムシグナル伝達は、グルタミン酸作動性シナプスの可塑性のいくつかの側面にお

いて重要である。哺乳類細胞において、この酵素は α 、 β 、 γ 、 δ の4つの異なる鎖から構成される。この遺伝子産物は β 鎖である。この鎖の異なるアイソフォームは、異なる細胞局在を示し、カルモジュリンとの相互作用も異なる可能性がある。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2014年5月]

研究分野

-

画像データ



U-87 MG 細胞ライセートのウェスタンブロット解析 (CaMKII β ウサギ mAb を使用)。
抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。